
cutter 2

新品の靴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

c u t t e r 2

【Nコード】

N 7 2 6 5 N

【作者名】

新品の靴

【あらすじ】

「ねえ、友達になろうよ！」

そう言われてから一週間が経つ。

「ねえ、友達になろうよ！」

そう言われてから一週間が経つ。

もちろん彼女とはあれ以来一度も会っていない。

通り魔の正体がバレた以上迂闊には彼女に会えない。

・・・警察を連れてきてくるかもしれないし。

あの日以来人を切るのも止めた。

案外止められるもんなんだなあ・・・

そう思いながら放課後の教室をそつと出る。

あたしを呼び止める人は誰もいない。

遊びに誘う人なんているわけがない。

友達になろうよ！

そう言われた時、確かにあたしはうれしかった。

自分を取り巻く環境があまりにも・・・凄惨で。

孤独の渇きが頂点に達しようとしていた。

そんなときにあの子が現れた。

ああだめだ、あの子のことしか考えてない。

もし、

もし本当に友達になつてくれたら？

裏切りじゃなく。

それだつたら・・・

それだつたら・・・

だめだ、あり得ない。彼女にはもう会わないほうがいい。

・・・だけど耐えきれず、会いに行くことにした。

同じ曜日同じ時間同じ場所に。

いるわけがない。と思いつつ微かに期待してしまう自分。

・・・

・・・ああ。

どうして。

いるの。

「やあ！久しぶり。もう会えないのかと思っていたよ。」

「・・・どうして。」

「ん？」

「どうしてここにいるの・・・？」

「どうしてってそりゃ、あなたを待って・・・」

「だからどうしてあたしなんかをずっと待ってんのよ！」

「だって言っただじゃん。友達になろうって。あなたもはいつて。」

「あんなの・・・」

「どっかいこっか」

「・・・は？」

「どっかとおーいところに行こ？一緒に！」

「え・・・いやいやいやだって時間も・・・」

「いいじゃん別に。死ぬわけじゃないし！」

あのねえ・・・

「それに人を切るよりはるかにマシだと思うけどなー？」

いたずらっぽくあたしを見つめる。

選択の余地なしか……。

あたしは深々と溜息をつく。

内心はどきどきしてたけど。

友達と出かけたことなんて……

「わかったわよ……でも急すぎ。」

「だって今思いついたもん。」

……

「で、どこ行くの？」

「うーん……それは電車に乗ってから決めよう。」

「ぶっ……何それ」

もう……意味分かんなくて。

楽しい。

やっと呼吸できた。

電車に揺られる二人が窓に映る。

なんだか不思議だ。

「……乗ったは乗ったでいいけど、ほんとどこいくんだろっね

ー私たち。」

「だから言ったのに……」

「……あ、そういえばどうして人を切ってたの？」

ちよっと……声大きいよ……

「うーん……根本的にはどうしてかわからないの。人を傷つけて
自分も傷つける、っていうスパイラルにはまったただけかも。」

「あーだからその傷……」

「あなたは？」

「え？」

「あなたのその傷。」

「それは・・・」

つづく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7265n/>

cutter 2

2010年10月11日03時17分発行